

# ベンダ 業 本社技術研究所・実験棟を着工

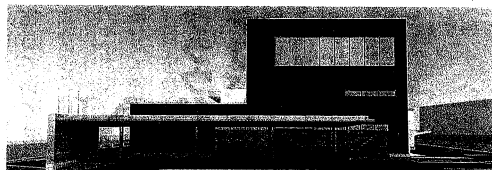
2.2.12

## 設備開発・メンテナンス ベンダエンジニアリング設立

自動車エンジン部品のリングギア製造などのベンダ工業（呉市苗代町10098-3、八代一成長）は2月5日、呉本社工場敷地内で、本社技術研究所・実験棟「ベンダ・グローバル・テクニカルセンター」Ⅱ完成予想図右Ⅱの起工式を行った。12月の完成予定で、従来から韓国に所在する研究所に加え、日本にも技術開発の拠点を新設し、ベンダグループの司令塔として機能させる。昨年11月には、韓国の現地法人を移設し設備の開発・改良、保守メンテナンスなどの業務を担う「ベンダエンジニアリング」（同所）を設立した。

2400平方メートル。1階には「ベンダ・イノベーション・テック・ギャラリー」Ⅱ予想図左Ⅱを設置し、製品展示、写真やパネルによる会社の歴史、グループ会社の説明などを行い、商談室や会議室も設ける。ベンダエンジニアリングは資本金1000万円。ベンダ工業の完全子会社のアジア貿易が100%出資する。工場レイアウトの企画・提案、生産管理業務の企画・提案、自動車部品の試験・実験、DX（デジタルトランスフォーメーション）領域に付随する開発・販売・保守などを行う予定。

呉工場では、20年4月からハイブリッド車（HV）向けマシニングの量産を始めた。現在はアイシニングの1P向けに年産12万台分を製造し、21年度には加工ライン2本、アッシー（複数の構成部品）ライン2本を新設予定。海外では、19年に韓国・仁川で5カ所の工場・倉庫を統合した新工場（工場2階・事務所4階建て延べ2万2836平方メートル）稼働。



本社技術研究所とベンダエンジニアリングは、実験棟を含め延べ